

TCFDの提言に基づく気候関連の情報開示

当グループは、「私たちは絆を大切にニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現します」という基本理念を掲げています。この基本理念のもと、ステークホルダーの皆様からの期待や社会の要請に応えていくために、「サステナビリティの考え方」においてマテリアリティ(重要課題)を定め、気候変動・地球温暖化対策を最も優先度の高い項目として掲げております。

ニチバングループでは「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言において開示が推奨されている「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの内容について開示を行い、今後継続的に開示内容の充実を図ります。

リスクマネジメント体制図



- 気候変動にかかわる基本方針や重要事項、リスクや機会などを検討、審議する組織として、CSR担当取締役を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置します。
- 気候変動に関する検討は「サステナビリティ委員会」のもと実施し、その内容は取締役会に年1回上程・報告され、取締役会が監督・指示を行います。
- 取締役会で審議・決定された議案は、各部門に展開され、それぞれの経営計画や事業運営に反映します。

戦略

中長期的なリスクのひとつとして気候変動を捉え、関連リスク及び機会を踏まえた戦略と組織のレジリエンスについて検討するため、当社はIEA(国際エネルギー機関)やIPCC(気候変動に関する政府間パネル)による気候変動シナリオ(2°C未満シナリオ及び

4°Cシナリオ[※])を参照し、2050年までの長期的な当社への影響を考察し、売上構成比の大きい国内のメディカル事業、テープ事業を対象にシナリオ分析を実施しました。

※2°C未満のシナリオ:気温上昇を最低限に抑えるための規制の強化や市場の変化などの対策が取られるシナリオ
4°Cシナリオ:気温上昇の結果、異常気象などの物理的影響が生じるシナリオ

リスク管理

気候変動リスクに関するワーキンググループを設置してシナリオ分析を実施しました。気候関連リスクの優先順位づけとして、自社へのリスク・機会の発生可能性と影響度の大きさを勘案しながら、重点リスク要因に注力して取り組みます。今後は、サステナビリティ委員会で継続的に確認していきます。気候関連リスクの管理プロセスとして、コーポレートコミュニケーション部がサステナビ

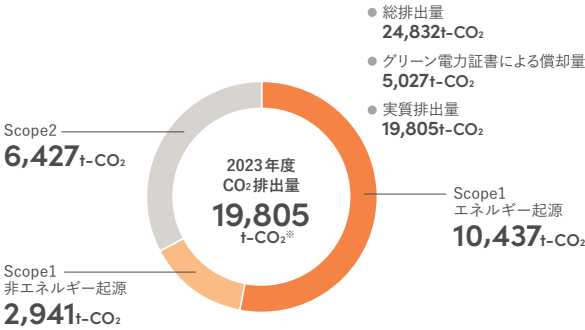
ティ委員会の事務局機能を担い、サステナビリティ委員会を通じて、気候関連リスクに関する分析、対策の立案と推進、進捗管理等を実践していきます。サステナビリティ委員会で分析・検討された内容は、取締役会に報告し、全社で統合したリスク管理を行います。

シナリオ	要因	変化	リスク/機会	影響度	当社への影響	当社の対策
2°C (移行)	炭素税の導入	原材料・副資材調達コストの増加	リスク	↓	排出量原単位の高い基材や樹脂、ゴムなどの原材料や副資材コストへの価格転嫁により、当社利益が圧迫される。	調達条件や調達先の見直し等の調達機能強化による調達コストの削減と価格転嫁の実施
		操業コストの増加	リスク	↓	炭素税により、当社利益が圧迫される。	生産拠点再編や新工法の導入等によるエネルギー使用量削減
	GHG排出規制を含む各種規制の強化	証書等環境価値購入による操業コストの増加	リスク	↓	証書等購入コスト増加により、当社利益が圧迫される。	環境価値の価格交渉や調達先多様化を通じた購入コストの削減 再エネ取り組み姿勢の対外PR
		設備更新コストの増加	リスク	↓	脱炭素(CO ₂ 排出量目標達成)へ向けた新たな設備投資や生産拠点再編に伴う財務負担の増加により、当社利益が圧迫される。	CO ₂ 排出量や環境負荷の総合的判断基準導入によるコストの抑制 長期的な投資計画に基づく設備投資等の平準化
	環境配慮意識の高まり	天然由来製品の需要増加	機会	↑	ステーションリーホーム・EC 並びに工業品フィールドにおける天然素材由来製品の国内売上の増加が期待できる(2023年度時点での影響度試算結果)。	天然由来素材製品(セロテープ。等)の環境貢献価値の訴求によるブランド価値向上の企図
		環境配慮型製品需要の増加	機会	↑	調達・設計・製造からのライフサイクルにわたる環境負荷の定量化によって、環境価値の高い製品の開発・販売強化での切り替え推進により、売上が増加する。	ニチバンのサステナビリティ重要課題への取り組み推進 環境配慮型製品の製品開発の促進 及び販売強化 製品開発への低環境負荷評価の導入
	投資家のESG重視姿勢の高まり	気候変動への取り組みと開示の重要性の高まり	リスク	↓	気候変動などへの取り組みの情報開示の遅延により、投資家評価の低下を招く。	適切な気候変動への取り組みの継続実施と情報の開示
	激甚災害発生頻度の上昇	防災・補修・一時固定のテープ・シート類の需要増加	機会	↑	防災などに使用されるテープ製品の売上が増加する。	激甚災害に備えた製品の開発、販売促進
4°C (物理)	気候変動による天然資源由来原料の生産高減少	被災による一時的生産停止リスクの増大	リスク	↓	Aqueduct floods rcp8.5シナリオの分析結果、現時点では、いずれも被害が及ばないことを確認した。	策定済みの事業継続計画(BCP)による対応継続
		生産停止リスクの増大	リスク	↓	生産に必要な資材の調達が困難になることでの生産停止により、利益が圧迫される。	原材料調達先の多様化

指標と目標

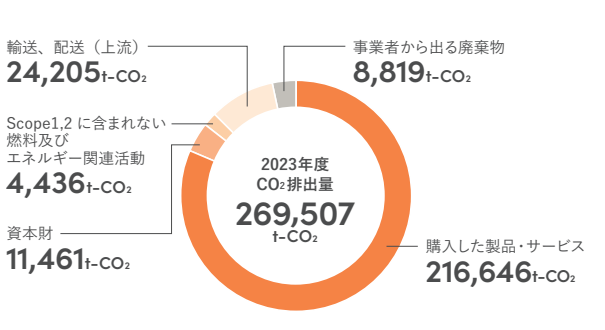
- 気候関連問題が経営に及ぼす影響を評価・管理するため、Scope1、Scope2及びScope3に該当する温室効果ガス(CO₂)の総排出量(GHG)を指標とします。
- Scope1とScope2の目標と実績、及びScope3の実績は「ニチバン株式会社及び国内グループ会社」を対象として開示します。
- 主な削減への取り組みは、従来からの取り組みに加えて、コストや効果を踏まえて、CO₂排出量削減策を検討、順次開示し、脱炭素社会への貢献に向けて取り組んでいきます。

2023年度Scope1,2 CO₂排出量



※グリーン電力証書のグリーン電力相当量5,027(t-CO₂)を控除しています。

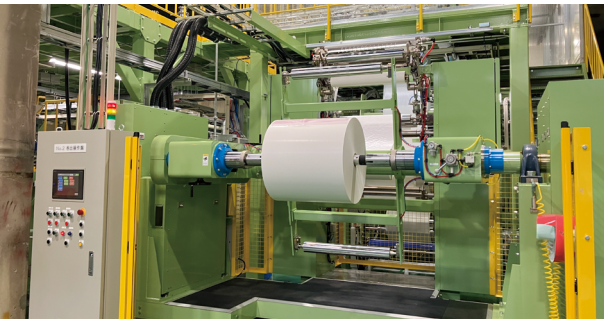
2023年度Scope3 CO₂排出量



TOPICS 環境・社会貢献活動

溶剤使用量削減、脱溶剤への取り組み

安城工場において、有機溶剤を使用しないホットメルト製法を取り入れた新しいナイスタック™ とたばねら™ の生産がスタートしました。この取り組みにより、CO₂排出量を既存工程の5分の1程度にまで削減する見込みです。この製品は、安城工場での研究開発を10年以上かけて行い、環境への配慮を重視しました。有機溶剤を使わない製法の導入により、地球環境への貢献や製品の品質向上が期待されます。革新的な取り組みを通じて、より環境に優しい社会づくりに貢献していきます。



原材料生産地での人権デューデリジェンスを実施
スリランカ天然ゴム農園視察

2023年11月に天然ゴム農園を訪れ、ラテックス採取から製品化までのプロセスを見学し、特に児童労働の有無と労働環境を調査しました。ラテックスの採取は午前6時から正午に行われ、その時間は児童の学校と被るため、児童労働はないことが確認されました。また、労働者は農園周辺に住み、地域には託児所や病院が設置されており、安心して働きやすい環境が整っていました。



第14回 巻心ECOプロジェクト

2023年度に実施した第14回巻心ECOプロジェクトでは全国から1,080団体と318人の個人の方々に参加いただき、過去最多本数の巻心が回収できました。

回収巻心総数

455,677個

※使用カゴ数:105パレット

巻心総重量

6,781kg

第15回巻心ECOプロジェクト

第15回巻心ECOプロジェクトの一環として、2024年5月に国内植林活動「森のしずく保全活動」を広島県廿日市市にて実施しました。今回初めての試みとして、公式特設Webページ『セロテープでSDGsに貢献』に賛同していただいている企業・団体、広島県東広島市の小学校の皆さまに参加をいただきました。今後もサステナビリティに関する重要なテーマとして、国内外での植林活動を継続して行い、本プロジェクトを推進してまいります。



障がい者支援

スポーツメディカル製品の提供などを通じて、夢を目指してチャレンジし続ける人の活躍や、スポーツ環境の発展を支援しています。

●ブラインドサッカー

2018年4月からNPO法人日本ブラインドサッカー協会のサプライサービスパートナー契約を締結し、大会運営で使用するテープ製品類を提供しています。

●車いすテニス

2023年9月から車いすテニスプレーヤーの船水梓緒里選手(LINEヤフー株式会社所属)とのスポンサー契約を開始しました。

●ゴールボール

一般社団法人 日本ゴールボール協会とオフィシャルゴールドサプライヤー契約を締結し、テーピングテープ「バトルウイン™シリーズ」を提供しています。

●パラリンアート

2018年4月から一般社団法人障がい者自立推進機構が推進する「パラリンアート」の活動を支援しています。



特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会公式ホームページより



第15回ニチバン巻心ECOプロジェクトデザインコンペ 最優秀賞作品(制作:モエミさん 作品名:希望の木)

子どもたちの工作支援

ニチバンのセロテープ®製造工程から出る端材を認定NPO法人金沢アートグミ※へ提供し、子どもたちの創作活動に役立ててもらう取り組みを行っています。

※石川県金沢市から委託を受け、未就学児が自由に創作活動ができるアートスタジオ「子どもアート工房」を運営されています。



社会関連リンク ステークホルダーエンゲージメント/社会貢献活動

関連方針リンク ニチバングループの倫理/ニチバングループ 人権方針/ニチバングループ 健康経営方針/ニチバングループ 品質方針/ニチバングループ 環境方針/ニチバングループ 購買方針/ニチバングループ 危機管理方針/ニチバングループ ITセキュリティ方針/ニチバングループ グリーン調達ガイドライン



「GX促進に向けたカーボンフットプリントの製品別算定ルール策定支援事業」への参加

ニチバン株式会社が参加するグループは、2023年度に経済産業省が実施した「GX促進に向けたカーボンフットプリントの製品別算定ルール策定支援事業」へ参加しました。本事業では、サプライチェーン全体の排出量削減に貢献する先進事例の創出を目指し、文具業界で統一された製品別算定ルールの確立を目指したものです。

「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」への参加

ニチバン株式会社が参加するグループは、環境省が実施する2024年度の「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」に参加します。本事業は、国民が脱炭素に貢献する製品やサービスを選択できる社会の実現を目指し、カーボンフットプリント(CFP)の算定・表示を通じて排出削減の取り組みとビジネス成長を両立させる、先進的なロールモデルとなる企業の創出を目指すものです。